

KADOKAWA とカカオピッコマが共同開発 初の電子マンガマガジン「MANGA バル」12/16 サービス開始 ～無料で読めるオリジナル連載の最新話を毎日更新！～

- 大手出版社 KADOKAWA と毎月 1 千万人以上が利用する電子マンガ・ノベルサービスピッコマの共同プロジェクト
- KADOKAWA 創業 79 年史上初の電子マンガマガジンが「ピッコマ」のトップ画面にて運営開始
- 各社が持つ強みとノウハウで、新作や作家の発掘・育成、グローバル展開にもフォーカス
- カカオピッコマのノウハウを盛り込んだ最適な UI と UX

株式会社 KADOKAWA(本社:東京都千代田区、取締役 代表執行役社長 CEO:夏野剛)と株式会社カカオピッコマ(本社:東京都港区、代表取締役社長:金在龍)は共同で 12 月 16 日(月)、オリジナル連載作品を最新話無料で提供する画期的な電子マンガマガジン「MANGA バル」のサービスを開始します。



<オリジナル作品イメージ>

©エターナル 14 歳 ©貴島煉瓦 ©甘夏みのり・琴子
©ヨルカ ©若松卓宏・野田宏 ©コバシコ ©ももやま・琴子

MANGA バル

<サービスロゴ>

漫画雑誌は、定期刊行を通じて数多くの珠玉の作品を発掘・育成し、トップクラスの作家に育てる媒体としてその役割を果たしてきました。そこから生まれた作品は、日本国内にとどまらず、世界各国に展開され、コンテンツ業界の発展に大きく貢献しました。しかし、ここ数年では私たちの日常をはじめ、コンテンツ業界にも急激な変化がもたらされています。それにより、日本国内の紙漫画雑誌の休刊が相次ぎ、新しい作品の発掘はもちろんのこと、作品を提供できる場も次第に減少することになりました。

そこで、書籍・雑誌出版業界のリーディングカンパニーのひとつである KADOKAWA と、グローバル No.1 マンガアプリ「ピッコマ」(※1) の運営を行うカカオピッコマは、漫画雑誌のデジタル化を通じて、新作を開発し、読者に作品を提供する場をつくるという目標から、共同プロジェクトに取り組むこととなりました。本プロジェクトは、人々に従来の漫画雑誌ならではの魅力を継続的に発信すると共に、今の読者のライフスタイルに合わせて、閲覧方法やビジネスモデルを新たに構築し、マンガを楽しめる環境を充実させることにも焦点を当てています。

創業 79 年の歴史を持つ KADOKAWA は、テンポの速いデジタル環境でコンテンツを消費する読者のニーズを鑑み、創業以来初となる電子マンガマガジン「MANGA バル」を展開します。そして、多岐にわたる読者のニーズに応えるべく、少年誌・青年誌・女性誌各編集部より経験豊富な漫画編集者を集め、MANGA バル編集部を設立しました。次のメガヒット作品を生み出す役割を果たしていく予定です。

カカオピッコマは、毎月 1,000 万人以上が利用する電子マンガ・ノベルサービス「ピッコマ」のトップ画面上部に「MANGA バル」専用「表示領域」を設けます。そして、作品更新日には誰でも無料で最新話が閲覧できる「¥0 マガ」というサービスを始めます。カカオピッコマは、雑誌の素晴らしさの一つに「発売日に友達とみんなで楽しみ、気持ちを分かち合える」という要素があると考えています。その体験を、デジタル上で提供したいと考え、同じ日に、みんなで無料で作品を楽しめるサービスを準備しました。

それに加えて、グローバル No.1 マンガアプリとしてのノウハウを盛り込み、作品の感動と魅力を最大化する最適な UI(ユーザーインターフェース)・UX(ユーザーエクスペリエンス)を落とし込みました。幅広い作品が閲覧できる環境を構築することで、読者は「時間」と「場所」にとらわれず、簡単かつ素早くマンガマガジンを楽しむことができます。

両社は、「MANGA バル」を通じてオリジナル作品を配信するだけでなく、作家の発掘・育成も支援します。世界で愛されるメガヒット作品を生み出し、広く届けてまいります。

「MANGA バル」は、12月16日(月)午前11時から電子マンガ・ノベルサービス「ピッコマ」でご利用いただけます。アクションやファンタジー、少年少女向けから大人も楽しめる作品などさまざまなジャンルのマンガが毎週、独占先行で配信されます。サービス開始時には、曜日ごとに1作品、計7作品の週刊連載作を用意しています。『廻生の血盟者』(月)、『ステラ・テスタロッサ』(火)、『嘘つき陛下が私に執着する理由』(水)、『横浜アウトサイダーズ』(木)、『くまぐらし』(金)、『CMYK 鮫田和人は厨二病が治せない』(土)、『公爵家の愛されニセ幼女』(日)です。連載作品は、今後さらに追加されます。

作品は、週に1度、指定された曜日に更新されます。更新当日であれば、誰でも無料で最新話を楽しむことができ、それまでの話についても条件を満たすことで、無料で読むことができます。

詳しい利用方法については、12月16日(月)午前11時以降、最新バージョン「ピッコマ」アプリおよび「ピッコマ」公式サイトにてご確認ください。

| MANGA バル連載作品

■作品名『廻生の血盟者』(作家:エターナル 14 歳) ©エターナル 14 歳

- ・ジャンル:少年(ファンタジー×アクション)
- ・作品概要:能力バレから始まる異能アクションバトル!!

■作品名『ステラ・テスタロッサ』(作家:貴島煉瓦) ©貴島煉瓦

- ・ジャンル:少年(インフルエンサー×アクション)
- ・作品概要:イケメンインフルエンサーがスタイリッシュバトルするはずだったのに!?

■作品名『嘘つき陛下が私に執着する理由』(原作:琴子/漫画:甘夏みのり) ©甘夏みのり・琴子

- ・ジャンル:女性(禁断の愛×ファンタジー)
- ・作品概要:無能と蔑まれた巫女と敵国の王が「禁断の愛」に堕ちる…!!

■作品名『横浜アウトサイダーズ』(作家:ヨルカ) ©ヨルカ

- ・ジャンル:少年(少年漫画×アクション)
- ・作品概要:天涯孤独な男子高校生が最凶ヤクザの息子と入れ替わる!?

■作品名『くまぐらし』(原作:野田宏/漫画:若松卓宏) ©若松卓宏・野田宏

- ・ジャンル:青年(猛獣×コメディ)
- ・作品概要:油断するとやられる、ハートフル“熊”コメディ。

■作品名『CMYK 鮫田和人は厨二病が治せない』(作家:コバシコ) ©コバシコ

- ・ジャンル:青年(黒歴史×ラブコメ)
- ・作品概要:青春!【陰莖】争奪!! 黒歴史回収ラブコメ開幕!!

■作品名『公爵家の愛されニセ幼女』(原作:琴子/漫画:ももやま) ©ももやま・琴子

- ・ジャンル:女性(ロマンス×ファンタジー)
- ・作品概要:人生に疲れたので幼女化したら、溺愛生活が始まりました!?

| MANGA バル公式キャラクター

あらゐけいいち氏による描き下ろしキャラクター「バルっち」(左)と「バルバル」(右)



サービス概要

- 【サービス名】 電子マンガマガジン「MANGA バル」(公式 X:@MANGAbaaaaar)
【開始日】 2024年12月16日(月)午前11時
【利用方法】 「ピッコマ」アプリの最新バージョンおよび「ピッコマ」公式サイトにてご利用が可能
※アプリダウンロード: <http://piccoma.com/web/redirect/853>
※公式サイト: <https://piccoma.com/web>

【コンテンツ】

- ・サービス開始時は、曜日ごとに1作品、計7作品の週刊連載を予定
- ・アクションやファンタジー、少年少女向け、青春などさまざまなジャンルのマンガが毎週、独占先行で配信
- ・作品は、週に1度、指定された曜日に更新。更新当日は誰でも無料で最新話が楽しめる
- ・それまでの話についても、条件を満たすことで、無料で読むことができる

<KADOKAWA について>

KADOKAWA グループは、「グローバル・メディアミックス with Technology」を基本戦略に掲げ、多種多様な分野に精通した人材集団、多彩な IP を創出するためのクリエイティビティ、グループの力を最大化するテクノロジーといった強力な基盤を最大限に活用しながら、作家・クリエイター、読者・ユーザー、取引先の皆様とともに、数多くの IP(知的財産)を生み出し、さまざまな形で世界中のファンにお届けしています。

<カカオピッコマについて>

kakaopiccoma

株式会社カカオピッコマは、電子マンガ・ノベルサービス「ピッコマ」の運営を行う企業です。「Happy Every Day - 世の中の人たちをより笑顔に、幸せに」というビジョンのもと、その価値を実現するために尽力しています。「ピッコマ」は、2023年の年間取引金額が1,000億円を突破し、グローバル No.1 マンガアプリ(data.ai 消費者支出基準)に選ばれるなど、大きな注目を集めています。

(※1) data.ai 集計基準「2023年モバイルアプリマーケット(Android+iOS 合算)消費者支出」ランキングでも、ゲームを含む全カテゴリーで「日本国内第1位」、「グローバル17位(ゲームを除くと7位)」にランクインをしました。

(press release) 電子マンガ・ノベルサービス「ピッコマ」サービス開始から7年、2023年「年間取引金額1,000億円突破」と「日本アプリ市場消費者支出1位」を同時に達成。電子マンガの単一プラットフォームとしては世界唯一
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000560.000003707.html>



【本サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社 KADOKAWA / 宣伝広報部 ▶ E-mail: pr-group@ml.kadokawa.jp